

宝 次世代へ残す

搾油・景観美化目的に

首都圏からツアー ツバキ苗木植える

竹駒町



ヤブツバキの苗木を植えるツアー参加者＝竹駒町

陸前高田市で搾油生協プロジェクトを説明するネバリー・バザール(土曜義代代表、神奈川県横浜)主催のツバキ植樹会が25、26の両日、同市竹駒町で行われた。首都圏などからの参加者を含む約80人が、同市の再生や搾油によるまちの活性化に願いを込め、81本の苗木を植えた。

フェアトレード通販誌「Verda」を発行するネバリー・バザールは、復興支援の一環として昨年10月、同町に製油工場「橋のみち」を建設。気仙沼ツバキを活用した産業振興と雇用創出、観光資源づくりに取り組んでいる。

今回は陸前高田のこども園についてPRしようとする現地ツアーを企画。原料確保と景観美化を目的とし、同工場そばにある約100坪あまりの民有地で植樹会を行った。参加者は、狭い大地に手こずりつつも懸命にスコップを動かしながら苗木に土をかけていった。

植えられた苗木は、伊豆諸島にある東京都利島(としま)村の生産者らが提供。搾油の生産量日本一として知られる利島でも、円外不出とされてきた原種のヤブツバキで、接ぎ木しながら大切に育てられているもの。其の収穫量が多く、良質な油がとれる。

利島産研究会の梅田高也会長(72)は、「正直なところ、島から出たくなかった」と元談交じりに話しながら、「搾油で陸前高田を助けた」という土屋さんの熱意にほだされた」と語り、復興を応援する意味で苗木を提供したという。

また「うまく根づいても、良い葉をつけるかどうかは分からない。この土地固有のツバキを自分たちで育てていく必要もあるのでは」とアドバイス。生産者の一人である小林春木さん(85)も、「もともと素晴らしい木がたくさんある。良いものを育ててほしいし、ツバキを通じた交流が生まれればうれしい」と語った。

「家庭的な雰囲気」

ケアホーム希望が完成

猪川町

社会福祉法人大洋会 が大船渡市猪川町字富いた慈愛福祉学園アイデイサービスセンター、ケアホームは木造平

の教本となるよう頑張っていたみたい」とあいさつ。

建設に携わった両コソノ建設、日野建設設計事務所への感謝状贈呈も行われた。

重慶障がい者の地域生活の支援(障がい者の地域包括ケア)のあり方と介護者の高齢化

1段100名入りの

企業。原料確保と景観美化を目的とし、同工場そばにある約100坪あまりの民有地で植樹会を行った。参加者は、狭い大地に手こずりつつも懸命にスコップを動かしながら苗木に土をかけていった。

植えられた苗木は、伊豆諸島にある東京都利島(としま)村の生産者らが提供。搾油の生産量日本一として知られる利島でも、円外不出とされてきた原種のヤブツバキで、接ぎ木しながら大切に育てられているもの。其の収穫量が多く、良質な油がとれる。

交通安全活動推進へ

地交推委員に辞令交付

大船渡警察署地域交通安全活動推進委員協議会(新沼克雄会長)の本年度一回目の会合が24日、大船渡市盛町で開かれ、地交推委員の辞令交付が行われた。本年度の活動方針や計画を決定し、出席者が交通安全活動の推進へ意識を新たにした。

同協議会は農公安委 員会から事例を受けた、各地域の駐車秩序の確立と交通安全意識の

安心な社会づくりを

民生児童委員協が総会

大船渡市

大船渡市民生児童委員協議会(遠藤喜隆会長、委員14人)の平成25年度総会は24日、同市盛町のシーパル大船渡で開かれた。本年度の事業計画などを原案通り承認し、市民が安心して暮らせる地域社会づくりに向けた活動展開を確認した。

総会には委員ら約100人が出席。冒頭、遠藤会長が「東日本大震災の影響で生活環境が大きく変わった。我々の役割が多様化する中、少子高齢化も進み市民からの期待も大きい。強い使命感のもと活動にあたってほしい」とあいさつした。

